

新庁舎・(仮称) 新福祉会館建設に係る市民説明会	日時	令和元年5月19日(日) 10:00~12:00	場所	商工会館大会議室
説明者	西岡市長、高橋庁舎建設等担当部長、今井公共施設マネジメント推進担当課長、前島福祉会館等担当課長			
事務局	企画政策課 渡辺主査、小林主任、萩野主任 地域福祉課 山口主査 (受託者) 株式会社佐藤総合計画			
参加者数	38人(うち市議会議員6人)			
次第	1 開会 2 本日の流れ、配布資料の説明、市民ワークショップの案内、こがねいミーティング案内、出席者の紹介 3 基本設計に至るまでの経過の説明 4 担当者の紹介、技術提案書の説明、庁舎配置検討の説明 5 質疑応答 6 閉会			
(進行：渡辺主査)				
1 開会				
2 本日の流れ、配布資料の説明、市民ワークショップの案内、こがねいミーティング案内、出席者の紹介				
3 基本設計に至るまでの経過の説明				
4 担当者の紹介、技術提案書の説明、庁舎配置検討の説明 高橋庁舎建設等担当部長が3について説明を行った後、株式会社佐藤総合計画が4について説明を行った。				
5 質疑応答				
【市民A】 市民検討委員会が作成した基本構想、基本計画は読まれたか。基本構想の中に小金井市にはお金がないという市民の共通認識が書かれている。95.6%の市民が新庁舎建設に係る財政負担について重要であるというアンケート結果がある。東日本大震災前の基本構想作成時は、免震構造は想定していなかった。当時は地下駐車場も計画せずに30万円台前半/m ² で総予算を42~43億円としていたが、想定の平米単価を教えてください。今後も小金井市では図書館・体育館・インフラ等の予算が必要な施設が沢山ある。				
【株式会社佐藤総合計画】 基本構想、基本計画は確認している。技術提案書ではコスト縮減に関しては大切なこととして示し、基本計画より面積を1200m ² 程度縮減する提案をしている。また福祉会館・市庁舎の機能はしっかり確保した上で、シンプルな形が重なりあうアイデアとすることで、災害時も含めてお互いにメリットが生まれる提案としている。今後の市庁舎の在り方や来庁者の目的も多様化していくことが予想されるため、無理のない中で対応出来る庁舎としていきたい。コンパクトに重なりあわせることで、来庁者が寄り添いやすい小金井ひろばを設ける。植栽をなるべく伐採しないこともコスト縮減に繋がると考えている。オリンピックを控えて建設コストは上昇しているが、オリンピック後の建設コストの動向を随時チェックしながら計画を進めていくように考えている。				
【市民B】 小金井ひろばのしだれ桜は建物の影が落ちるので、日影の環境にならないか。				
【株式会社佐藤総合計画】 現状の位置からしだれ桜は移植で計画しているが、今後、樹木医にヒアリングしながら移植の検討を行う。日影に関しても日照時間も含めて日影シミュレーションを確認しながら進めていく。ただし樹木の最終位置はワークショップ等意見も踏まえて決めていく。				
【市民B】 敷地内に駐輪場100台程度必要と考えられるが、どこに計画されているか。				
【株式会社佐藤総合計画】 駐輪場は敷地へアプローチする入口廻りの各所に分散して配置している。				
【市民C】 重なりあうというコンセプトは、複合化のメリットを生かす提案として良いと思う。福祉総合相談窓口の位置に関して、庁舎か福祉会館に置か検討していたが、重なりあうスペースのマルチスペースに向かって配置されているのか。				

【株式会社佐藤総合計画】

現状はプライバシーに配慮しつつ、市庁舎の福祉保健部と連携がとれるように福祉会館2階の中心に配置するように考えている。会議室については重なりあう部分を介して両館で共有可能な計画を検討している。

【市民D】

ワークショップやこがねいミーティングでは、広場・多目的室・マルチスペースの使い方等の予め用意した市民利用スペースの使い方がテーマになっているが、市民と行政が連携し協働の場としての活用出来る市民意見の吸い上げも行ってほしい。市民協働センターやボランティアセンター、福祉総合相談窓口の使い方は、小金井市独自の使い方があると考えられるので、それらの意見の吸い上げもお願いしたい。

【株式会社佐藤総合計画】

まず今回のワークショップでは、市民が自由に動けるスペースがかなり広いと、それらのスペースに細やかな配慮が行えるようなテーマとしている。市民と協働の場に関しての意見の吸い上げは協議の上、今回の市民説明会を受けて前向きに検討出来ればと考えている。また、複合化したメリットを活かしたいため、市民の方がわかりやすいテーマとしているが、テーマ以外の意見もいただけるように考えている。

【市民E】

私は敷地周辺の近隣のマンションに住んでいるなかで心配していることがある。配置図の人と車の動線を改善した方が良い。車両の出入口は現状のリサイクルセンター出入口付近に車両の出入口を想定されているが、出入口は相当数の車が入ってくると考えられる。出入口は敷地北西側の交差点付近に配置し、信号機・横断歩道を新たに設置した方が良い。リサイクルセンターと道路の段差は大きいですが、敷地内側にレベルが下がっているため、問題ないと考えられる。そうすることで緑中央通りの整備に伴い増えた歩行者・自転車に対して、安全に歩車分離対応可能となり、さらに曲線状の出入口の計画が改善される。また高架下の北側の出入口は、福祉関係の方が東側からアクセス可能となるので、工事中に限らずに常時、人や車が入れるようにしてほしい。

【株式会社佐藤総合計画】

今後、警察やJRと協議して進めるが、提案では、車が混み合うことも想定して敷地内に5台ほど車が並べる余地を残している。また、駐車場法上、交差点付近は危険とされている。満車時に交差点に車が並ぶ状況を防ぐために、交差点からは出入口は離さなければならない。

【市民F】

計画されている敷地は、大きな池が存在していた場所だが地盤は問題ないか。地下に駐車場を設ける際は地盤の湿地層を除去するのか。

【株式会社佐藤総合計画】

今後ボーリング調査を行い、支持基盤を確認する。また小金井市では地下水を大切にしており地盤を改良して地下水に影響がでる可能性もあるため、調査結果を踏まえた検討を行う。

【市民G】

エレベーターはどこに設置されるのか教えてほしい。例えばコストがかかると思うがマルチスペースから福祉会館2階に上がるエスカレーターを設置した方が使い勝手が良いのでは。

【株式会社佐藤総合計画】

エレベーターはメインアプローチに2台、建物西側に2台、福祉会館に2台を想定している。上下階への移動は基本的にバリアフリーを配慮し各所にエレベーターを採用している。エスカレーターは点検のためのランニングコストが高くかかる。エスカレーター等の意見については、ワークショップの意見を踏まえながら検討していく。

【市民G】

従来の福祉会館では公民館の本館機能があった。今回の計画では、公民館機能を持った活動するスペースとして家庭実習、音楽活動、青年学級等の活動の拠点機能をもたせたい。今後の検討になると思うが、現時点で説明してほしい。低層にすることで周辺環境には良いが、そのようなスペースがないのでは。

【株式会社佐藤総合計画】

新福祉会館建設基本計画にある会議室・多目的スペース等で活動の場所を確保している。大人数の利用は1階のマルチスペース・多目的室で対応出来るのでは、と考えている。また、その他、実習室も調理実習の対応が出来ると考えている。例えば実習した料理を多目的室で食事する等を想定して配置しているが、配置場所に関しては、今後、意見を聞きながら検討していく。

【福祉会館等担当課長】

過去、福祉会館で行われた機能は回復していくように考えている。市民ワークショップで意見を抽出

しながら設計者と検討していく。

【市民H】

資料の中の地図は北側を下としているが意図があるのか。今後の資料は修正してほしい。

【株式会社佐藤総合計画】

J R武蔵小金井駅前に設置されている坂道の名前が書かれた地図が強く印象に残っており、駅から敷地までのアプローチの感覚を素直に絵にした。今後は北を上として資料づくりしていく。

【市民H】

ワークショップでは、11月30日の最終回に「市民の使い方を考えよう」がテーマとなっているが、もっと早い段階で決めた方がよい。また建物は箱型の長い形状で決まっているが、回廊型は考えられないか。

【株式会社佐藤総合計画】

ワークショップではなるべく4回連続参加していただいた方がよいが、その他の意見も抽出出来るようにし、早めにテーマ以外の意見もいただきながら、漏れがないように進めていきたい。

【市民I】

市に対して意見だが、福祉会館の建設検討委員会があったが、市庁舎に関しては行われていなかった。ワークショップで意見を抽出するのでは遅い。市民の声をどのように吸い上げようと考えているか。

【庁舎建設等担当部長】

庁舎についても平成25年3月までの基本構想、基本計画策定の過程で市民検討委員会を実施している、また、両基本計画を踏まえて庁舎と福祉会館を複合する計画としている。今後また同じ検討委員会を設けることは考えていない。

【市民J】

コストの問題について確認したい。資料の81ページに14%縮減と書いてあり、良いことと思うが、どこから出てきた数字か不明。オリンピックに向けて請負工事費も上がってくるため、23年の着工時は経済情勢が大きく変わっていると考えられる。14%縮減は難しいのではないか。「かかるものはかかる」という役所の考え方ではなくて、コスト縮減に関して設計事務所の意気込みや気構え、自覚を聞きたい。

【株式会社佐藤総合計画】

14%縮減の内容を説明する。工事費に関しては、建設費のインシャルコストで示し、面積を縮減することで全体に対して2%縮減と試算しており今後も予算にあうように努力していく。また、7割程度を占めるランニングコストの中の光熱水費を大幅削減するように提案している。光熱水費を下げるための高性能の機器の取り換え費がかかることから改修費が上がるが、全体で考えると光熱水費を下げた方がよいという検討結果となった。今後も市場調査をしながら進めていく。

【市民K】

人が歩く空間から覗ける福祉会館という提案の中で、公民館的に利用するマルチスペース・多目的スペースがあっても良いが、会議室は、人が歩く空間から見えない方がよいのでは。プライバシーに配慮することは出来るか。

【株式会社佐藤総合計画】

平面図で説明すると各所に会議室を設けている。市役所から吹抜け越しに見えるように計画している会議室を、例えば壁をガラスにして中の活動が見えたら良いように提案している。音楽等のイベント時は見えて良いと思うが、プライバシーへの配慮が必要な活動に対応出来るようにカーテンやブラインド等を設ける予定である。

【市民K】

地震時のトイレの水の確保はどのように考えているか。

【株式会社佐藤総合計画】

雨水を地下に貯めて災害時に使用可能となるように考えている。今後、地下水の利用も部分的に使用できるか検討していく。

【市民K】

トイレは多い方がよい。また授乳室・車椅子用のトイレの位置がわからないので教えてほしい。

【株式会社佐藤総合計画】

平面図で説明すると活動の場となる場所の近くに各階均等に設け、トイレ利用の待ち時間等のメーカーの指標を参考に進める。トイレの数は、例えば学校などのように人が休み時間に集中する用途で設定してしまうと、トイレの数が過剰になってしまうため、まずは通常時の庁舎（事務所）で想定してコ

ストを加味しながら検討する。また、授乳室・車椅子用トイレは各階のトイレの近くに設ける予定。設置個所数についてはワークショップの意見やコストを含めて必要数を検討していく。

【市民L】

ワークショップの申込みについて、メールで申し込みが出来ない等、参加へのハードルが高い。なるべく4回参加してほしいとのことだが、休日の午前中なので難しいのでは。当日ワークショップに参加出来ない人はパブリックコメントで対応できるようにしてほしい。

【株式会社佐藤総合計画】

ワークショップ各4回は、異なるテーマで意見を聞きたいので、可能であれば4回とも参加いただきたいが、全ての回に出られる人限定ではないので、なるべく多くの市民の意見を聞きたいと考えている。

【市民M】

低層化、周辺環境に配慮するのはよいが、敷地の中で建物が占める面積が広がってしまう。市民が集うことを主題としているが、市民のためのスペースは、ピロティを含めてほとんど駐車場や駐輪場に占められていて限られている。市民の憩いの場のようなスペースを考えた方がよいのではないか。広場に関して、駅周辺には、憩いのスペースがなく、実体験ではないが増加している保育児の遊べるスペースがない。そのため、遠方に行かざるをえない人もいると考えられる。周辺環境に配慮のためだけに低層化して良いのか。

【株式会社佐藤総合計画】

提案のひろばの考え方は、現在の駅前広場や敷地の広場で行われているイベントが可能なスペースだと考えている。福祉会館の来館者を考慮し、車から安心して乗り降り可能とし、災害時の物資搬入に可能な大きなオープンスペースとしてピロティを設けている。また建物廻りは既存の樹木を残しつつ、自然と寄り添ってアプローチできる出入口を設け、各所の遊歩道には、ベンチや遊具が置ける小さな広場を設けて、憩いの場となるように細やかに配慮し、検討する。駐車場に関しては、駐車場の舗装色を工夫して、イベント時は全体でひろばとして使える等の設えを検討していく。例えば、弊社で設計したある庁舎では市庁舎の駐車場をお祭りで使っている。屋外だけでなく建物の内部にも小さなひろばを設ける等、有効に活用しながら内部と外部が一体となった使い方を皆様と検討していきたい。

低層化は景観以外に、避難経路が短くなるので、災害時に強い庁舎につながる。また階が少ないことでトイレ・階段が減り、面積縮減にも繋がりコスト面でも有効と考えられる。

【市民N】

子育て広場について、現状の子ども家庭支援センターの「ゆりかご」が混雑している。さらに利便性が良くなる今回の計画では来館者が増えることが予測されるため、なるべく広くした方がよい。今までの「ゆりかご」のスペース以上の面積は確保出来ているか。

【株式会社佐藤総合計画】

子育て広場の面積は基本計画の要求面積は確保している。また、これからの庁舎と福祉会館の相互の連携について考えており、設計者としては子育て広場は施設の核となる重要なスペースとして認識している。

【市民N】

子育て広場のスペースがとれないということであれば屋上緑化スペースに子どもが出られた方がよい。

【株式会社佐藤総合計画】

ルーフガーデンの意見は良いと思う。ワークショップの意見でも、おそらく出てくると思うが、事故につながる可能性もあるため、開放するルールの検討は必要である。

【市民N】

駐輪場は三人乗りの自転車も対応出来るように設計してほしい。

【株式会社佐藤総合計画】

駐輪場の大きさは、二輪車用の駐車場も含めて、しっかり検討していく。

6 閉会

西岡市長が閉会の挨拶を行った。

— 以上で、閉会 —